特許協力条約

10/540638

PCT.

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70] REC'D 07 OCT 2004

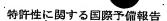
WIPO PCT

出願人又は代理人 の <b>碁類記号 TU03</b> -0903WO1	今後の手続きについては、	様式PCT/I	PEA/416&	参照すること。	
国際出願番号 · PCT/JP03/12777	国際出願日 (日.月.年) 06.10.	2003	優先日 (日.月.年) 10	. 01. 2003	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' C	23C14/34, C22C	19/03			
出願人 (氏名又は名称) 株式会社日鉱マテリ	アルズ				
		···			
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条) の	この国際予備審査機関で作 う規定に従い送付する。	 成された国際予	備審査報告である。	,	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。					
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a  ×  附属書類は全部で 2 ページである。					
✓ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)					
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙					
b 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示す。 ブルを含む。(実施細則第80	こうに、コンピュータ読み取 ) 2号参照)	り可能な形式に	(電子媒体の よる配列表又は配	種類、数を示す)。 列表に関連するテー	
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	含む。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
<ul><li>※ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</li><li>● 第 I 欄 優先権</li><li>● 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</li><li>● 第 I 欄 発明の単一性の欠如</li></ul>					
けるための文献 第VI欄 ある種の引用文 第VII欄 国際出願の不備	献	又は産業上の利	用可能性について(  :	の見解、それを裏付	
□ 第VⅢ欄 国際出願に対す	る髙見 	***			
国際予備審査の請求書を受理した日 04.03.2004	国際予	備審査報告を作 1:	成した日3.09.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP)	特許庁	審査官 (権限の	ある職員)	4G 9157	
郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目43		前田仁	志 81-1101 :		

## 特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/12777

第1欄 報告の基礎	1
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願	
□ この報告は、	
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT1 た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付	4条)の規定に基づく命令に応答するために提出され けしていない。)
出願時の国際出願書類	
× 明細審 第 1-11 ページ、出願時に提 第 ページ*、   第 ページ*、 ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
× 請求の範囲	付けで国際予備審査機関が受理したもの ・
第	出されたもの 条の規定に基づき補正されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
図面 第 ページ/図、出願時に提 第 ページ/図*、	•
第 ページ/図*、 配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。	付けで国際予備審査機関が受理したもの
3.  補正により、下記の事類が削除された。	
明細事 第   請求の範囲 第   図面 第   配列表(具体的に記載すること) ■   配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) ■	ページ 項 ページ/図
4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかったで えてされたものと認められるので、その補正がされなかったで	つ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 ものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
□ 明神像 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	ベージ 項 ベージ/図
, * 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されること;	がある。



国際出願番号 PCT/JP03/12777

<b>見解</b> ·	,		
		, '	•
新規性 (N)	請求の範囲 請求の範囲	1-10	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-10	
産業上の利用可能性(IA) ·	請求の範囲 請求の範囲	1-10	· 有 <del></del>

文献及び説明(PCT規則70. ?)

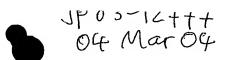
請求の範囲1-10に係る発明について 請求の範囲1-10に係る発明は、国際調査報告で引用された文献に対して新規

性、進歩性を有する。 国際調査報告で引用された文献には、タンタルを0.5~10at%含有し、残部ニッケルである合金を、ゲート電極材料用スパッタリングターゲットとして用いることが記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないも のである。

12/4

## 請 求 の 範 囲

- 1. (補正後) タンタルを 0. 5~10 a t %含有し、残部ニッケルであることを特徴とするゲート電極材用ニッケルータンタル合金スパッタリングターゲット。
- 2. (補正後) タンタルを 1 ~ 5 a t % 含有し、残部ニッケルであること を特徴とするゲート電極材用ニッケルータンタル合金スパッタリングター ゲット。
- 3. (補正後)ガス成分を除く不可避不純物が100wtppm以下であることを特徴とする請求の範囲第1項~第2項に記載のニッケルータンタル合金スパッタリングターゲット。
- 4. (補正後) ガス成分を除く不可避不純物が10wtppm以下である ことを特徴とする請求の範囲第1項~第2項に記載のニッケルータンタル 合金スパッタリングターゲット。
- 5. (補正後)酸素が50wtppm以下、窒素、水素及び炭素がそれぞれ10wtppm以下であることを特徴とする請求の範囲第1項~第4項のそれぞれに記載のニッケルータンタル合金スパッタリングターゲット。
- 6. (補正後)酸素が10wtppm以下であることを特徴とする請求の 範囲第1項~第5項のそれぞれに記載のニッケルータンタル合金スパッタ リングターゲット。
- 7. (補正後) ターゲット面内方向の初透磁率が50以上であることを特徴とする請求の範囲第1項~第6項のそれぞれに記載のニッケルータンタル合金スパッタリングターゲット。
- 8. (補正後) ターゲット面内方向の初磁化曲線上の最大透磁率が100 以上であることを特徴とする請求の範囲第1項~第7項のそれぞれに記載 のニッケルータンタル合金スパッタリングターゲット。



- 9. (補正後) ターゲットの平均結晶粒径が80μm以下であることを特徴とする請求の範囲第1項~第8項に記載のニッケルータンタル合金スパッタリングターゲット。
- 10. (補正後) 再結晶温度~950° Cで最終熱処理を行うことを特徴とする請求の範囲第1項~第9項のそれぞれに記載のニッケルータンタル合金スパッタリングターゲットの製造方法。